

ダンボールコンポストを つくってみよう！



用意するもの

- ・ダンボール箱(本体用)・・・厚めのものを選んでください
- ・ダンボール(ダンボール箱本体の底に敷く用)
- ・新聞紙
- ・基材・・・ピートモスともみ殻くん炭を3:2の割合で混ぜたもの
- ・ガムテープ
- ・ダンボール箱を置く台・・・すのこ、キャスター付きの台など
- ・スコップ



つくり方の手順



1. ダンボール箱を組み立てます。

ガムテープで隙間をふさぎ、
虫の侵入を防ぎます。



※箱の底です



2. ダンボール箱の底に、ダンボールを敷きます。

底の強度を上げ、水分で底が抜けないようにします。
新聞紙を重ねて入れると、さらに効果的です。



3. 基材を箱の7分目くらいまで入れます。

基材は舞いやすいため、静かに入れます。



4. 新聞紙(または使い古しのTシャツ)で カバーを作ります。

虫の侵入を防ぎます。ベランダに設置する場合は、雨等で破れないように、使い古しのTシャツなど布製のカバーをしてください。



5. ダンボール箱を設置します。

すのこ、キャスター付きの台など、通気性の良い台の上に設置します。



6. 生ごみを投入します。

1日500gくらいを目安に入れてください。
生ごみを入れたら、よくかき混ぜてください。

7. 生ごみの分解が遅くなったら、生ごみの 投入をやめます。

※全体が黒っぽくなり、塊がでてきます。
生ごみを投入する期間は、約3ヶ月くらいと言われています。
(生ごみの量や種類によって、期間は異なります)
生ごみの投入をやめた後は、1週間に1度かき混ぜながら、1ヶ月間寝かせます。
後にたい肥として利用できます(パサパサした状態になっています)。



深谷市ホームページに、「ダンボールコンポストについて(Q&A)」を
掲載していますので、参考にしてください。

深谷市 環境水道部 環境課

電話:048-585-5150